



2026年3月19日

各 位

会 社 名 ASAHI EITO ホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長
代 表 者 名 星 野 和 也
グループ CEO
(コード 5341 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部 経営管理部長 三 宅 久 史
T E L (06)7777-2067

暗号資産流動性提供事業の開始に関する補足説明について

当社グループは、2025年7月11日付適時開示「祖業の黒字化への取り組み、アジア戦略の見直し等の事業構造改革について」で公表しました通り、以下の重点項目において経営改革を行っております。また、2025年11月21日付適時開示「新たな事業の開始に関するお知らせ」で公表しました通り、これまでの方針に「トレジャリー事業（暗号資産流動性提供事業を中核とする）」を加え、企業価値向上に向けた取り組みを行って参ります。

- (1) 祖業であるアサヒ衛陶株式会社の事業改革
- (2) グループとしてのアジア展開見直し
- (3) 新しい挑戦への取り組み「希ガス」事業
- (4) トレジャリー事業（暗号資産流動性提供事業を中核とする）

上記(4)について、本日開示の「トレジャリー事業における暗号資産流動性提供事業の開始に関するお知らせ」通り、「暗号資産流動性提供事業」について、事業の開始をお知らせしております。

投資家の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに、より分かりやすくご理解いただくことを目的として、以下のとおり補足説明を行います。

記

1. 暗号資産流動性提供事業の概要

当社の暗号資産流動性提供事業は、保有する暗号資産を分散型取引所（DEX）であるUniswapに預け入れ、取引の円滑化に貢献することで発生する取引手数料収入の獲得を目的とする事業で

す。ユーザー間で暗号資産の交換（スワップ）が行われる際に発生する手数料の一部が、流動性提供者に分配される仕組みを活用します。

2. 流動性提供に用いる暗号資産および取引ペア

本事業において当社は、保有するイーサリアム（ETH）を活用し、以下の暗号資産を用いた流動性提供を行う予定です。

使用する予定の暗号資産

- ラップドイーサリアム（Wrapped Ether／WETH）
- CB ビットコイン（cbBTC）
- USDT（米ドル連動型ステーブルコイン）

流動性提供を行う予定の主な取引ペア

1. WETH / cbBTC
2. WETH / USDT
3. cbBTC / USDT

これらのペアについて、Uniswap 上で流動性提供を行い、取引手数料収入の獲得を目指します。

3. 想定する収益水準について

当社は、本事業において、暗号資産ベースで年率 20%以上の利回り水準を目標としております。

当社が目標とする年率約 20%は、Uniswap v3（Ethereum）における手数料分配の仕組みに基づくものであり、暗号資産価格の上昇を前提としたものではありません。

Uniswap v3 では、手数料は当該時点で価格レンジ内にある流動性に按分されます。

当社の手数料収益は、手数料率、対象プールの出来高と流動性規模（出来高/TVL）、および価格レンジ内での稼働率により説明できます。

例えば、0.30%の手数料ティアにおいて年率 20%の手数料収益を得るには、理論上、日次出来高が TVL の約 18%以上となる水準が必要です。

当社は、Ethereum 上の対象暗号資産ペアについて、専門家との協議の元、過去一定期間（注 1）における出来高、流動性規模および価格推移を基に、想定レンジ内での稼働率を考慮した試算を行った結果、当該水準が目標値として成立し得ると判断しました。

ただし、当該利回りは市場環境、取引量、暗号資産価格の変動等により変動する可能性があり、特定の収益水準を保証するものではありません。

（注 1）Uniswap v3 の公式サブグラフにおける 2026 年 2 月 1 日からの 28 日間

4. Uniswap を利用する理由

Uniswap は、世界的に利用実績のある分散型取引所（注 2）であり、スマートコントラクトを用いた自動化された取引の仕組みを採用しています。

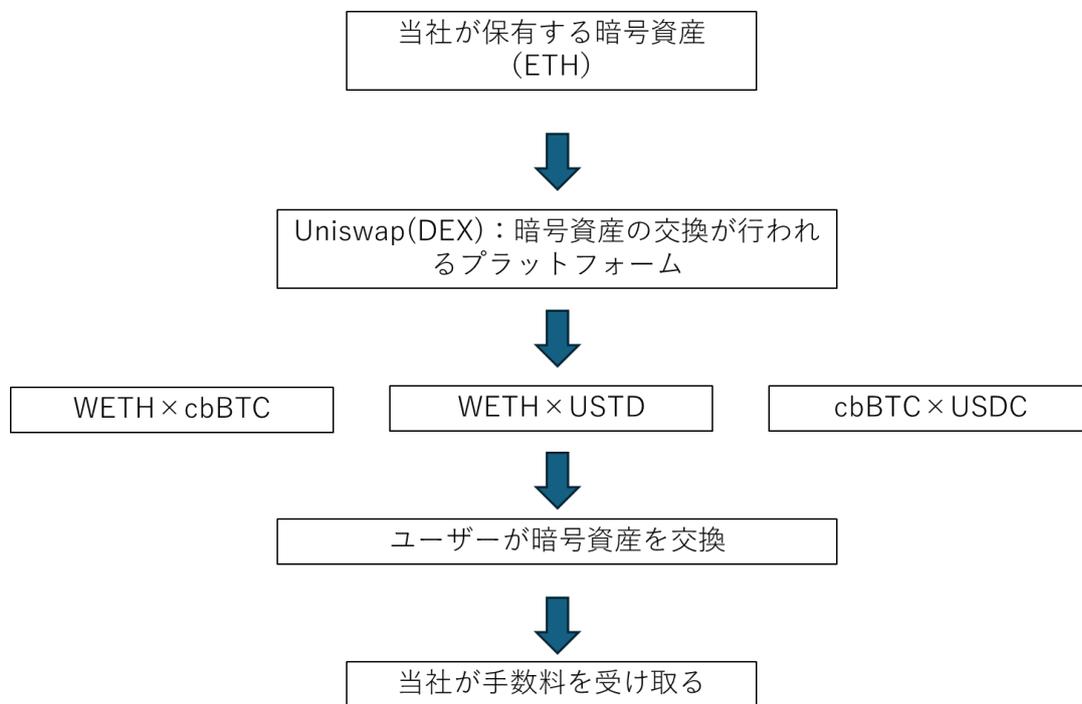
当社は、以下の点を踏まえ、Uniswap を利用することが適切であると判断しました。

- 流動性および取引量が比較的高いこと
- DeFi（分散型金融）分野における運用実績が豊富であること

- 中央管理者を介さず、透明性の高い取引が行われていること

(注2) 出典 (CoinGecko Research)

“Uniswap was the largest decentralized exchange (DEX), with its market share at 35.9% in August 2025.”



5. リスク管理およびガバナンス体制

暗号資産流動性提供事業には、以下のようなリスクが存在します。

(1) 暗号資産価格の変動リスク

暗号資産は市場環境等の影響を受け、価格が大きく変動する可能性があります。本事業においては、暗号資産価格の変動により、保有資産の評価額が変動するリスクがあります。

(2) 流動性提供に伴う価格乖離リスク (インパーマネントロス)

分散型取引所における流動性提供では、取引の状況に応じて、預け入れた暗号資産の構成比率が変動することがあります。その結果、暗号資産を単純に保有した場合と比較して、資産価値が減少する可能性があります。

(3) スマートコントラクトに起因するリスク

Uniswapはスマートコントラクトを用いて運営されており、プログラム上の不具合や想定外の事象が発生した場合、損失が生じる可能性があります。

(4) 規制・制度変更に関するリスク

暗号資産および分散型金融 (DeFi) を取り巻く法令・規制や制度は、今後変更される可能性があり、その内容によっては本事業の運営や収益性に影響を及ぼす場合があります。

6. 今後の位置づけ

本事業は、当社グループが推進するトレジャリー事業の一環として、中長期的な財務基盤の強化および資産運用の多様化を目的とするものです。現時点において、本事業が当社連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、今後の事業進捗等に応じて、適切な情報開示を行ってまいります。

以上